

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスびっかむ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 12日		2026年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 2月 24日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公文学習での取り組みによる5領域全ての支援を、それぞれの児童に合わせて題材で提供している	公文式教材による学習支援の中で、個人個人に合った学習を見極め、楽しみながら学習に取り組むことが出来るよう支援している。そのうえで日々児童の体調や心理状態、家庭からご連絡頂いた児童の状況に合わせ、安心して挑戦し続けられる環境作り。	児童ごとに課題が適切であるよう、家庭や学校とのより密な情報共有。 昨今、法改正や、発達障がいに関わる知識が大きく更新され続けている環境の中、子どもたちに適切な支援が行えるよう、研修等の機会を増やす。
2	毎日随時の相談対応	保護者様方との日々の連絡、相談を頻繁に行うこと。計画内容に縛られず、随時の更新や、例外になる対応の柔軟化。	心理専門員の配置により、より質の高い支援につなげる。専門的支援の実施の為、体制を整える。
3	土曜日や長期休暇などの食育。毎週土曜日に行う療育活動。	毎週土曜日にイベント活動を実施していますが、単なるレクリエーションではありません。 活動はすべて発達支援の視点から設計しています。楽しさを入口にしなが、社会性・自己調整力・コミュニケーション力・挑戦する力が自然と育つよう意図的に構成しています。	支援の幅をさらに広げていくために、他事業所の実践や先進的な取組を積極的に学びながらも、それをそのまま取り入れるのではなく、びっかむに通う子どもたち一人ひとりの特性や発達段階に合わせて応用・展開できる力を高めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケアの体制が整っていないこと。		
2			
3			